

# 夜間パトロール 防犯 タクシーが一役

熊本の「クマタク」田迎営業所

熊本市の住宅街に営業所を構える熊本タクシー（倉岡斌社長）が地元の防犯に一役買っている。防犯協会を中心とした巡回は各地で行われているが、ボランティアの人たちだけでは夜間警戒にまで手が回らないのが実情。その穴を埋めるのが狙いという。市タクシー協会によると、市内での自主パトロールは同社だけ。地元でも頼りにされている。（阿部峻介）

## 毎晩3回 3校区見回る 地元交番からも頼りに



巡回する地域には街灯は少なく、入り組んだ道が多い。熊本市幸田で

同市幸田1丁目の田迎営業所では昨年4月1日から、夜間警戒を始めた。毎晩午後10時～午前0時、同0～2時、同2～5時の3回、「防犯パトロール」のマグネットシートと防犯灯をつけたタクシー1台が30～40分、御幸、田迎、田迎南の3校区を見回る。運転手は夜勤者の中から希望を募る。これまで約30回担当した藤田秋雄さん(58)の防犯タクシーに乗せてもらった。

午後10時。街灯が少なく、人通りのない小道を縫うように走る。時速約15キロ。小学校や公園の近くは特に注意深く見る。この時は何事もなかったが、昨年5月のある夕方には、田迎校区内で下半身を露出した男が小学生の女兒に近づいてきたという事件があった。

運転手は不審者を見つけたら、営業所に無線で連絡し、営業所から熊本南署へ通報する。大切なことは「一人の目があること」と藤田さん。同営業所は、町内会の広報紙で「クマタクさん」の愛称で親しまれる。管轄する幸田交番からも「自主的に活動してもらえ、非常に助かる」と好評だ。

同営業所は、岡山県倉敷市の事例を参考に今春から、小学生の送迎サービスも検討している。